

金剛山(郵便道)(葛木岳1125m)

[※ 実施日—2024年2月13日(火)]



(ハイライトシーン)

※弥生班 計6名

⑤ (積雪の階段)



③ (高天水車)



① (準備体操)



⑥ (一ノ鳥居)



④ (ポストのオブジェ)



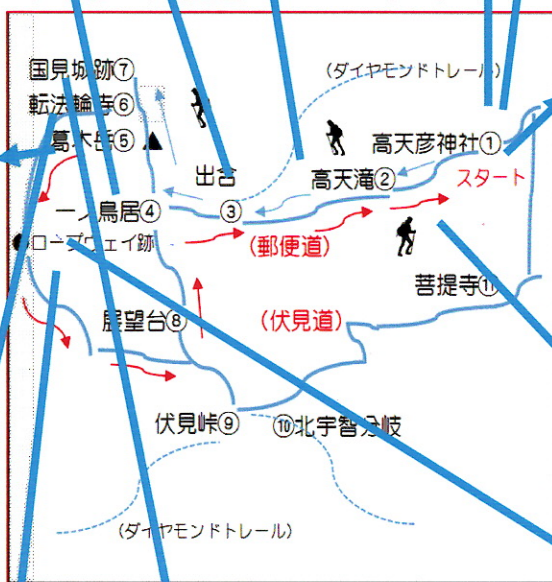
② (高天彦神社)



⑦ (葛木神社)



(金剛山・郵便道のロードマップ)



⑧ (転法輪寺)



⑫ (下山)



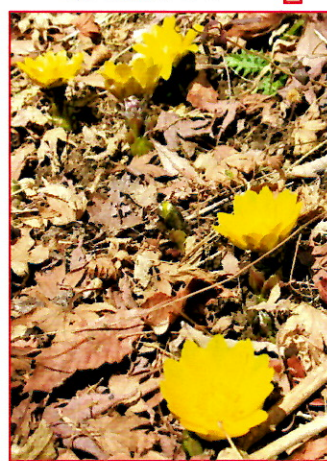
⑨ (雪のオブジェ)



⑩ (金剛山 山頂)



⑪ (福寿草)



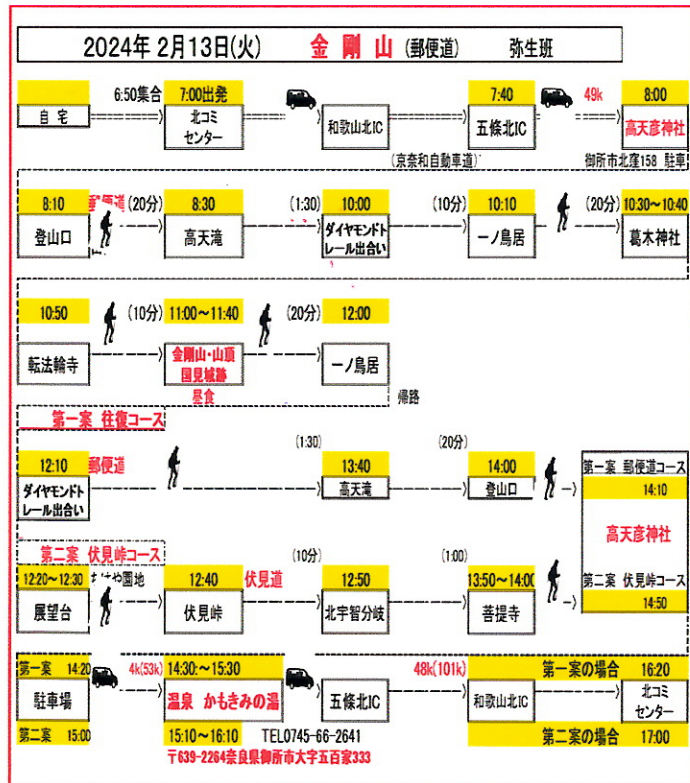
金剛山(郵便道) (葛木岳 1125m)

紀峰山の会 (弥生班)

※(山行日) ---- 2024年2月13日(火)

(メンバー) -----計6名

※(行程) [予定]



※(行程) [結果]

(往路---車移動)

○北コミセンター (出発) 7:00

○高天彦神社 駐車場 (到着) 8:00

(山行).

① 駐車場 登山口 ----- 8:10

② 高天彦 ----- 8:30

③ ダイトレ出合 ----- 10:50

④ 一ノ鳥居 ----- 11:00

⑤ 葛木神社 ----- 11:15

⑥ 転法輪寺 ----- 11:35

⑦ 金剛山山頂 昼食 ----- 11:50

出発 ----- 12:20

ロープウェイ跡 ----- 13:00

⑧ 展望台 ----- 13:30

④ 一ノ鳥居 ----- 13:50

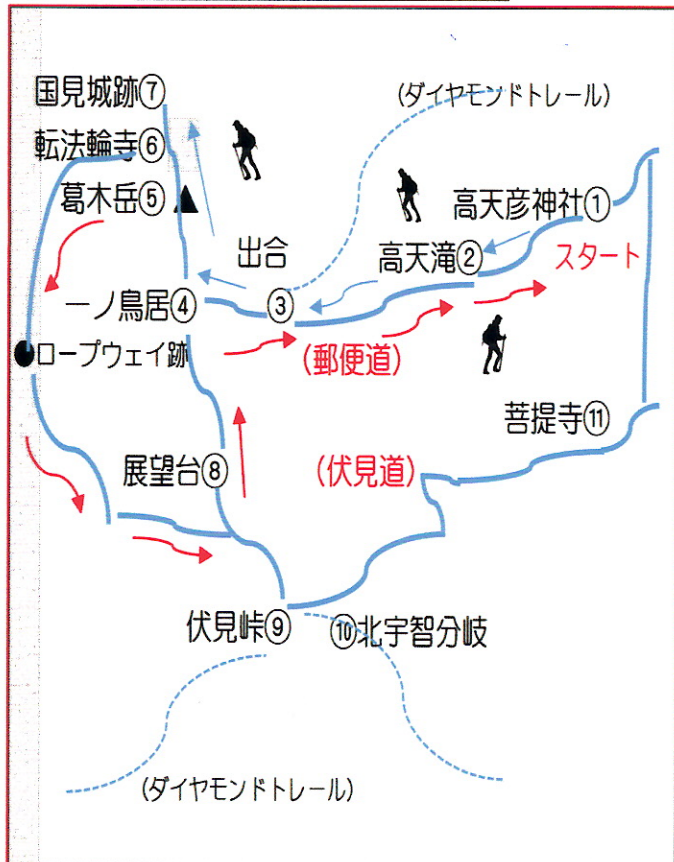
① 駐車場 登山口 ----- 16:15

(帰路---車移動)

○かもきみの湯 16:30~17:30

○北コミセンター (到着) 18:30

(金剛山のロードマップ)



※[はじめに]

(金剛山)

- ・金剛山は、大阪府の南東部に位置し、奈良県との県境にあって、金剛生駒国定公園に指定されている。
- ・かつては高間山・高天山(たかまやま)や葛城嶺(かづらきのみね)といわれていた。
- ・標高は1,125メートル。最高地点は葛木岳(かつらぎたけ)で、御所市の葛木神社の本殿の裏にあるが、神域となっており立ち入ることはできないため、国見城跡の広場が山頂扱いされている。

(登山ルート)

- ・登山口は、主に「千早赤阪村」「水越峠」「奈良県側」があり、ルートも多彩である。

- ・今回の山行は、奈良県側の高天彦神社をスタートとし、往路は郵便道の表道コース、帰路は郵便道中道コースを楽しむことにしました。

(写真1) (準備体操)



- ・北コミ7時出発、現地の駐車場8時到着。本日の行程周知の後、恒例の準備体操で気が引き締まる。

(写真2) (高天彦神社で安全祈願)



(余談) [高天彦神社]

- ・高皇産霊神(たかみむすびのかみ)、市杵島姫命(いちきしまひめのみこと)、菅原道真などを祀っている。背後にある白雲峰を御神体とするため本殿はない。
- ・高天彦神社の周辺は、日本神話「天孫降臨の地・高天原」伝説が残る古く歴史のある場所。

(写真3) (高天水車)



- ・金剛山から流れる水を利用して回っている。

(写真4) (郵便道の登山口)



- ・段差の幅が広く、一步一步とゆっくり進む。

(写真5) (ポストのオブジェ)



- ・山道途中に、郵便道らしくポストのオブジェが――

(余談) [郵便道]

- ・昭和10年から終戦まで御所側の郵便局員が、徒歩で山頂まで郵便物を配達したこと由来して郵便道の愛称で呼ばれている。

(写真6) (積雪)



- ・中腹から積雪となり、アイゼンを装着し進む。

(写真7) (階段)



- ・ 500 段ある階段を慎重に滑らないように進む。
100 刻みで表示があるが――

(写真10) (葛木岳のぼんぼり通り)



- ・ 情緒ある風景。

(写真8) (一ノ鳥居)



- ・ 11時、ダイヤモンドトレール出合から一ノ鳥居に到着し小休憩する。

(写真11) (転法輪寺)



- ・ この階段はよく滑る。

(写真9) (葛木神社)



(写真12) (金剛山 山頂)



- ・ 11時40分、山頂到着。
晴天で清々しい気分だ!!
ここでの昼食は格別だ!!

(写真 13) (雪で作られた犬のオブジェ)



- ・誰が作ったのか？
ソフトバンク犬にそっくり！

(写真 14) (福寿草)



- ・ロープウェイ跡の山頂駅付近で健気に福寿草が咲いていた。
(登山客からの情報で回り道しました)

(余談) [福寿草]

- ・花言葉には、「幸せを招く」「永遠の幸福」という縁起の良い花言葉がついています。
暖かい春の訪れを知らせるように花を咲かせる福寿草は、日本では古くから福を招く花として親しまれてきた。

(写真 15) (展望台)



(写真 16) (下山)



- ・郵便道の中道コースを下山する。
山道が狭く急斜面を降りる。

※[最後に]

(トラブル)

- アイゼン装着時、手間取り時間を要したメンバーが複数あった。事前に装備の不備がないか、又、装着訓練をしておくべきと反省する。

- 下山時、細い山道の端で、落葉で隠れたふかふかの土で滑り谷側に1m程度転んで落ちた。幸い木の株に引っかかり、ザックがクッションとなり打撲程度で事なきを得たが、注意不足が原因である。下山時も再度の注意喚起の呼びかけが必要と反省する。

(感想)

- 晴天が続き積雪は期待していなかったが、中腹あたりから積雪があり霧氷はないものの雪上散策が楽しめた。
 - 山上での情報から福寿草の観察ができ、花好きのメンバーだけでなく全員が癒された。
 - 帰路は、温泉入浴で冷えた体がぽかぽかと、心も温まり満足した山行でした。
-